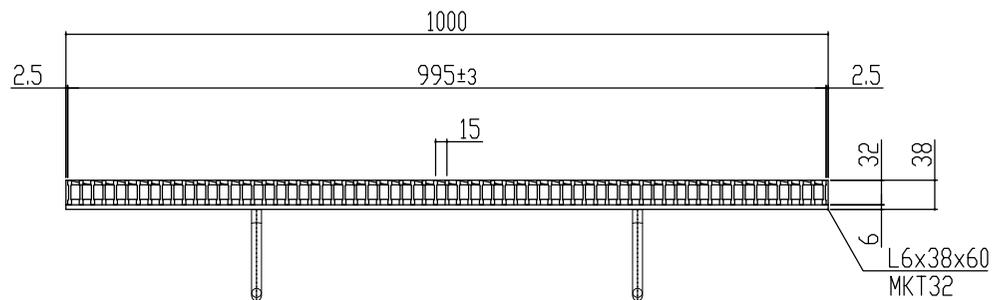
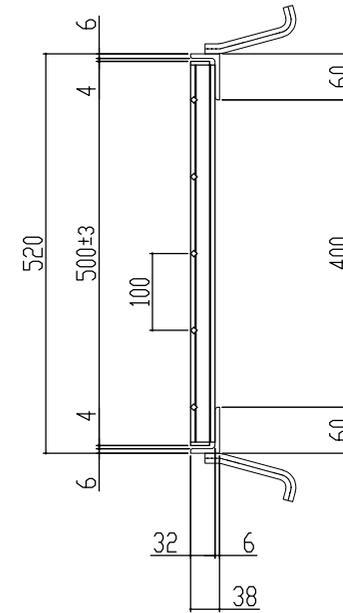


← 車輛進行方向(側溝) →



本体重量 35.5kg  
 受枠重量 9.0kg  
 合計重量 44.5kg

主部材詳細図

表面処理 本体は熔融亜鉛メッキ仕上げ  
 (JIS H8641)  
 受枠は錆止め黒塗装仕上げ

訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称 一般側溝用(ハイテン) グレーチング 溝幅400用 細目 ノンスリップ T-14 LNHM325-4	株式会社 マキテック MK駐輪事業部	
標準製作図面								材質 数量 縮尺			図番 MKG-L-074
試作図面											
特注図面											
検討図面											

# グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHM325-4
	製品寸法	500x995x32
	主部材	I-5 × 3 × 32
	断面係数	Z = 0.794 cm <sup>3</sup>

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 400
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm <sup>2</sup>	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: $\omega$ (N/mm)を求める。			
	$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より			
	$\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 15 / 100000$			
	$\omega = 8.40$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。			
	$M = \omega \times L \times L / 8$ より			
	M = 168000			
	M = 168,000 (N・mm)			
	3. 曲げ応力度: $\sigma_b$ (N/mm <sup>2</sup> ) を求める。			
	$\sigma_b = M / Z$ より			
$\sigma_b = 168,000.0 / 794.000$				
$\sigma_b = 211.59$ (N/mm <sup>2</sup> )				
従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm <sup>2</sup> ) に対し、				
<u><math>211.59</math> (N/mm<sup>2</sup>) <math>\leq</math> <math>320</math> (N/mm<sup>2</sup>)</u>				

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--